

Ⅲ 地域別構想

3-1 地域別構想の役割と地域区分

(1) 地域別構想の役割

地域別構想は、都市計画区域外を含めた本市の全域を地域の特性等に応じて区分し、全体構想による市域全体の都市づくりの方向を踏まえながら、目指すべき地域の将来像と地域づくりの方針を示すものです。

市民がまちづくりを身近な問題としてとらえ、市民と行政が目標像を共有しながら、協働してまちづくりを進めていく上での一助となるものです。

(2) 地域区分の設定

地域区分は、本市における土地利用の状況と人口、産業等の自然的、社会的諸条件を考慮して、北部地域（池田、昭和地区）、西部地域（秦、神在、久代、山田、新本地区）、南部地域（総社、常盤、清音地区）、東部地域（三須、服部、阿曾、山手地区）に区分します。

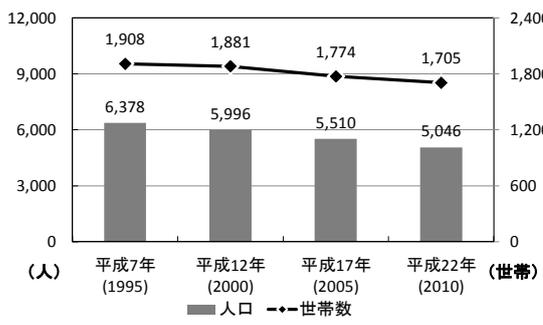
【地域区分図】



3-2 地域別の整備方針

1. 北部地域

(1) 地域の概要

<p>位置・地勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域は、市の北部に位置する池田地区、昭和地区の区域で、東側は岡山市に接しており、北側から西側にかけて吉備中央町、高梁市、井原市、矢掛町に接しています。 地域全体が山間部であり、土砂災害警戒区域が分布しています。 山間部の谷合に河川が発達しており、地域の西部から中央部にかけては高梁川が東流し、地域の東部には落合川や槇谷川が南流しています。 	<p style="text-align: center;">北部地域 位置</p> 															
<p>人口・世帯</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域は、人口、世帯数ともに減少傾向が続いています。 高齢化率[*]は42.1%と、市平均（26.4%）を大きく上回っています。 年少率[*]は7.9%と、市平均（14.5%）を下回っています。 <p style="text-align: center;">※平成27（2015）年1月時点</p>	<p style="text-align: center;">北部地域 人口及び世帯数の推移</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯数 (世帯)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成7年 (1995)</td> <td>6,378</td> <td>1,908</td> </tr> <tr> <td>平成12年 (2000)</td> <td>5,996</td> <td>1,881</td> </tr> <tr> <td>平成17年 (2005)</td> <td>5,510</td> <td>1,774</td> </tr> <tr> <td>平成22年 (2010)</td> <td>5,046</td> <td>1,705</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">出典：総社市統計書</p>	年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)	平成7年 (1995)	6,378	1,908	平成12年 (2000)	5,996	1,881	平成17年 (2005)	5,510	1,774	平成22年 (2010)	5,046	1,705
年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)															
平成7年 (1995)	6,378	1,908															
平成12年 (2000)	5,996	1,881															
平成17年 (2005)	5,510	1,774															
平成22年 (2010)	5,046	1,705															
<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域東部の池田地区は都市計画区域、市街化調整区域で、地域西部の昭和地区は都市計画区域外となっています。 地域の大部分は山間部ですが、JRの駅周辺や川沿いを中心に集落が形成され、谷合の平野部には田畑が広がっています。 																
<p>交通・都市施設等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高梁川沿いにJR伯備線が通り、豪溪駅、日羽駅、美袋駅が立地しています。 国道180号が高梁川沿いに地域を縦貫しており、同道に接続する主要地方道総社賀陽線及び主要地方道倉敷美袋線、また主要地方道総社三和線等の幹線道路が通っています。 地域の公共交通機関として、JR美袋駅を起点に路線バス美袋-槇線、美袋-木戸線が運行されるほか、デマンド型の新生活交通（雪舟くん）が運行されています。 JR美袋駅南側に美袋浄化センターが、また地域南部に一般廃棄物最終処分場が立地しています。 																
<p>環境・景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域一帯は、森林が広がり、高梁川、槇谷川及びそれらの支流などの清流や国指定名勝である豪溪、また秋葉山など、自然と景勝に恵まれた地域となっています。 地域の北西部には高間キャンプ場があり、自然と触れ合えるレクリエーション空間となっています。 																

（２）地域の課題と方向性

- ・地域の人口、世帯数は一貫して減少傾向が続き、また、40%を超える高い高齢化率となっていることから、高齢者をはじめ地域住民の生活サービス水準の維持や移動手段の確保がより一層求められます。
- ・山間部では、集落の周辺において集中豪雨等による土砂災害の危険性が高い場所が多いことから、安全な生活ができるよう、減災に向けた取り組みが求められます。
- ・高梁川や豪溪、高間キャンプ場など、自然と触れ合うことができる場所が多く存在することから、これらの地域資源を活用した魅力的な地域づくりが求められます。
- ・自然環境の保全と活用を図りながら地域の振興や活性化を図っていくとともに、生活道路、公園・広場等生活環境施設の整備を進め、定住とにぎわいのための施策を図っていく必要があります。
- ・産業の中心である農業の振興を図るため、農業基盤整備を進めるとともに、地元企業をはじめとする企業等を誘致し、雇用の場を確保するなど地域を活性化させる必要があります。
- ・市民アンケート調査結果からは、身近な店舗等の活性化を望む意見や、災害時の備えに関する不安等の意見があげられました。このため、地域拠点における魅力の向上や災害時の安全性の確保に向けた取り組み等が求められます。



名勝豪溪



地域拠点（JR美袋駅周辺）



集落地（池田地区）



消防署昭和出張所

（３）地域づくりの目標

地域づくりのテーマ

森林と川が織りなすふれあい環境と共生のまち

～流域の暮らしを守る防災対策とともに、農林業やレクリエーションを通じ人と自然が共生する豊かなコミュニティが維持される地域～

地域づくりの目標

- 森林や高梁川、槇谷川等の豊かな自然資源や田園景観を守り育て、これらを活かした特色ある田園居住環境や自然観察・レクリエーションの場の創出を目指します。
- 農林業の振興や身近な生活環境の向上を図りつつ、計画的な開発誘導を図り、コミュニティの維持と定住の促進に配慮した地域づくりを目指します。

（４）地域づくりの方針

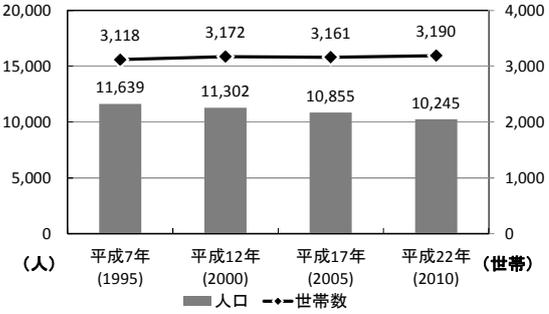
方針・項目	主な取り組み	
地域の特性を活かした土地利用	工業・流通地, 工業・流通ゾーン	・ J R 日羽駅南側の既存の工業地やその周辺は、工業・流通ゾーンとして、地元企業をはじめとする企業の誘致を進めることで、工業の振興と雇用の創出を図ります。
	地域拠点	・ J R 美袋駅周辺は、多極ネットワークの結節点として、公共交通サービスの充実等による交通利便性の向上を図ります。 ・ 地域の玄関口であるとともに生活の中心として、日常の生活利便施設の立地など利便性や住環境の向上に資する環境整備を進めます。
	農地・集落地	・ 農地は、食糧の生産機能はもとより、遊水機能、緑地空間等の多様な機能を有する貴重な用地であることから、農業施策等との連携により地域に適合した農業基盤整備を進め、優良農地の保全・確保に努めます。 ・ 商店、診療所等の日常生活に必要な機能が徒歩圏内に集積し、各集落を公共交通サービス等をつなぐ、「集落地生活拠点」の形成などコミュニティの維持を図るための施策を展開し、既存集落地の維持・改善を図ります。 ・ 都市居住者に対して、自然と一体となった居住環境や遊休農地等の情報提供を行い、U J I ターン*の促進を図ります。
	丘陵地, 山間地・森林地域	・ 本地域の大半を占める森林は、水源かん養や洪水の調節、大気の浄化、動植物の生息環境など都市全体の中で重要な役割を果たしていることから、その維持・保全を図ります。

方針・項目		主な取り組み
快適で利便性の高い交通環境づくり	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・国道180号、主要地方道倉敷美袋線、主要地方道総社賀陽線、主要地方道総社三和線等を軸とした地域間連携軸を形成するとともに、幹線道路や鉄道駅と連携する生活道路網の整備を進め、広域との連携強化や地域内交通の円滑化を図ります。 ・一般県道美袋井原線については、関係機関と連携し、老朽化した水内橋の改築を推進していきます。 ・生活道路の整備については、安全性、防災性、景観・環境などに配慮し、行政と沿道の地域住民との協働により、地域の実情に応じた愛着の持てる道づくりを進めるとともに、地域住民による維持管理活動の充実に努めます。 ・集落地周辺の国道180号については、歩行者の安全性の確保に努めます。 ・山間部を走る幹線道路については、自然環境の保全に配慮した整備を図ります。
	その他交通施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点に位置するJR美袋駅については、関係機関と連携し、バリアフリー化など機能向上を推進します。
安全・安心・快適な生活環境づくり	公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・広場については、健康増進や憩いの場とともに、避難場所としての機能も踏まえ、全市的な配置バランスを考慮して整備を進めるとともに、地元管理を基本に、維持管理の効率化に努めます。
	下水道・河川	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道については、美袋浄化センターの適切な維持管理に努めます。 ・公共下水道事業の対象外の地域については、合併処理浄化槽の設置を推奨します。
	その他都市施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業、簡易水道事業の給水区域外となる山間部集落については、小規模区域給水施設設置のための補助金を交付し、施設整備に努めます。 ・既存の集落地については、必要に応じて辺地総合整備計画等との整合を図りつつ、生活基盤や情報基盤等の公共的施設の整備等を進め、定住とにぎわいのための施策を引き続き進めていきます。 ・土砂災害警戒区域等において、砂防事業をはじめとする治山・治水等の防災事業については、関係機関と連携して、住民の安全確保に努めます。
自然環境の保全とレクリエーションの場づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・里山活動や川づくり活動などを活かし、地域住民と行政、都市居住者等との協働により森林資源、水辺環境の維持・保全を図っていきます。 ・名勝豪渓、井風呂谷川砂防公園等の多様な自然資源やレクリエーション施設をネットワークし、森林と水辺空間が一体化した自然観察・レクリエーションの場の形成を図っていきます。 ・水と緑のアメニティ軸を形成する高梁川、楨谷川等の河川については、水質の浄化や多様な生物の生息地の保全に努め、生態系に配慮した河川の整備と良好な河川景観の形成に努めるとともに、自然と触れ合い憩うことのできる親水性の高い水辺空間の創出を図っていきます。 ・高間キャンプ場は、自然との触れ合いの場として、できるだけ自然の環境を維持した状態でのレクリエーション機能の充実に努めます。

※U・J・Iターン：Uターン（進学や就職のため出身地から地域外へ出た後、再び出身地へ戻ること）、Jターン（進学や就職のため出身地から地域外へ出た後、出身地の近隣地域に戻ること）、Iターン（出身地にかかわらず、住みたい地域を選択し移り住むこと）を表します。

2. 西部地域

（1）地域の概要

<p>位置・地勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域は、市の西部に位置する秦，神在，久代，山田，新本地区の区域で，高梁川の西側にあって倉敷市，矢掛町に接しています。 地域中央を東西に流れる新本川は，地域東部において南北に流れる高梁川に合流しています。 新本川流域には平野が広がり，地域の北部と南部には丘陵地が広がっています。 <div style="text-align: right;"> <p>西部地域 位置</p>  </div>															
<p>人口・世帯</p>	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域の人口は 10,000 人超となりますが，近年減少傾向にあります。 世帯数は約 3,100 世帯とほぼ横ばいで推移しています。 高齢化率[*]は 29.4%と，市平均（26.4%）を若干上回っています。 年少率[*]は 11.2%と，市平均（14.5%）を若干下回っています。 <div style="text-align: center;"> <p>西部地域 人口及び世帯数の推移</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯数 (世帯)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成7年 (1995)</td> <td>11,639</td> <td>3,118</td> </tr> <tr> <td>平成12年 (2000)</td> <td>11,302</td> <td>3,172</td> </tr> <tr> <td>平成17年 (2005)</td> <td>10,855</td> <td>3,161</td> </tr> <tr> <td>平成22年 (2010)</td> <td>10,245</td> <td>3,190</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成 27 (2015) 年 1 月時点 出典：総社市統計書</p> </div>	年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)	平成7年 (1995)	11,639	3,118	平成12年 (2000)	11,302	3,172	平成17年 (2005)	10,855	3,161	平成22年 (2010)	10,245	3,190
年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)														
平成7年 (1995)	11,639	3,118														
平成12年 (2000)	11,302	3,172														
平成17年 (2005)	10,855	3,161														
平成22年 (2010)	10,245	3,190														
<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全域が都市計画区域で，地域南部の久代地区の工業団地（ウイングバレイ西工業団地）は市街化区域（工業専用地域），その他の区域は市街化調整区域に指定されています。 新本川周辺には農地が広がり，その多くは農用地区域に指定されています。 久代地区の工業団地には，輸送用機械器具製造業を中心とする大規模な工業・流通施設が立地しているほか，神在地区（富原及び下原）にも工業施設が立地しています。 久代地区には住宅団地（あおいハイツ）が配置され，良好な住環境が形成されています。 															
<p>交通・都市施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東西方向に主要地方道上高末総社線，南北方向に主要地方道倉敷美袋線，一般県道宍粟真備線等の主要な幹線道路が通っています。 地域の公共交通機関として，路線バス総社－新本線が運行されるほか，デマンド型の新生活交通（雪舟くん）が運行されています。 															
<p>環境・景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正木山をはじめ，地域の北部及び南部に丘陵地が広がり，新本川流域の背景となる自然豊かな里山の景観が形成されています。 一丁ぐる古墳群等，地域の貴重な歴史的文化的遺産が残されています。 地域東部を流れる高梁川沿川には，そうじゃ水辺の楽校が整備され，自然とふれあう環境が整えられています。 															

（２）地域の課題と方向性

- ・新本川流域においては、一定のまとまりを持つ良好な農地が広く形成されていますが、これら農地の維持に向けては、農業基盤の整備とともに、担い手となる地域住民の居住環境の向上を図る必要があります。
- ・既存の工業地を活かした工業の振興と雇用の創出による地域活性化が期待できる一方で、良好な田園環境の保全と居住環境の確保に向けて、農業と工業、住宅が共存する地域づくりを進めていく必要があります。
- ・高梁川及びその周辺に広がる丘陵地等の豊かな自然や、歴史的文化的遺産等の地域の特徴を活かし、魅力的な地域づくりが求められます。
- ・地域北部の丘陵地等では、集落の周辺において集中豪雨等による土砂災害の危険性が高い場所が多いことから、安全な生活ができるよう、減災に向けた取り組みが求められます。
- ・市民アンケート調査結果からは、定住の促進に向けて、防犯・防災の安心度の充実を望む意見が多くあげられました。このため、安全に暮らしやすい地域づくりが求められます。



田園景観（久代地区）



工業団地（久代地区）



新総社大橋



西公民館久代分館

（3）地域づくりの目標

地域づくりのテーマ

緑の田園に広がる農業とものづくりに
支えられた定住のまち

～豊かな田園環境を基盤に農業と工業地、住宅地が
連携、調和しながら定住を実現する地域～

地域づくりの目標

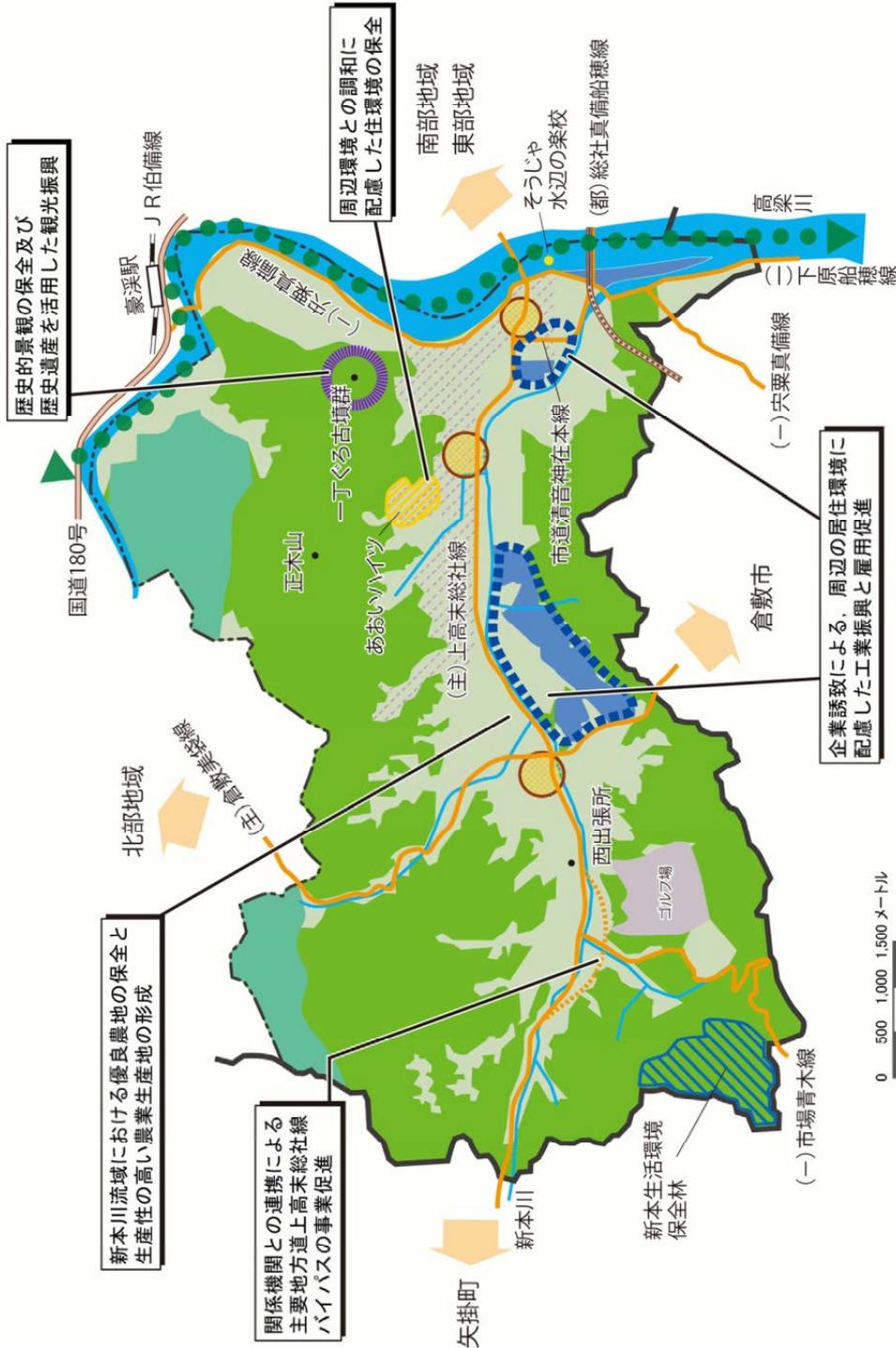
- 丘陵部の緑や高梁川、新本川等の自然資源と農地の広がる田園景観を守り育て、環境と共生した魅力ある地域づくりを目指します。
- 新総社大橋の整備に伴い、地域内外の連携強化のもと、地域の雇用・交流の推進を通じ、農業と工業地、住宅地が連携、調和する定住性の高い地域づくりを目指します。

（4）地域づくりの方針

方針・項目		主な取り組み
地域の特性を活かした土地利用	工業・流通地, 工業・流通ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・久代地区及び神在地区（富原）の既存の工業地並びにその周辺を工業・流通ゾーンと位置づけ、地元企業をはじめとする企業の誘致を進め、周辺集落地の居住環境に配慮しつつ、工業の振興と雇用の創出を図ります。また、神在地区（富原）において、地区計画に基づき、工業機能の強化を通じた良好な産業空間の形成を進めていきます。 ・神在地区（下原）の既存の工業地は、良好な工業地として維持・増進を図ります。
	農地・集落地	<ul style="list-style-type: none"> ・新本川流域等に広がるまとまりのある優良農地については、長期的に保全を図る一方で、農業基盤整備を進め、生産性の高い農業生産地の形成を図ります。 ・既存の集落地においては、商店、診療所等の日常生活に必要な機能が徒歩圏内に集積し、各集落を公共交通サービス等でつなぐ、「集落地生活拠点」の形成等のコミュニティの維持に努め、生活道路の整備や状況に応じた下水道事業等を総合的に推進して、田園環境と共生する良好な居住環境の向上を図ります。
	丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な田園景観と集落地周辺の里山は、貴重な緑地空間として積極的に保護・保全しながら、市民のコミュニケーションの場、憩いの場として活用します。 ・新本生活環境保全林は、保安林としての機能を踏まえつつ、市民の憩いの場として自然環境の保全に配慮し、森林浴等保養の場としての活用を図ります。

方針・項目		主な取り組み
地域の特性を活かした土地利用	山間地・森林地域	<ul style="list-style-type: none"> 森林は、水源かん養や洪水の調節、空気の浄化、動植物の生息環境など都市全体の中で重要な役割を果たしていることから、その維持・保全を図ります。
	その他土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 既存の住宅団地については、周辺環境との調和に配慮しつつ住環境の保全を図ります。
快適で利便性の高い交通環境づくり	道路	<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道上高末総社線，主要地方道倉敷美袋線，市道清音神在本線を軸とした幹線道路網を形成するとともに，幹線道路と連携する生活道路網の整備を進め，広域との連携強化や地域内交通の円滑化を図ります。 関係機関と連携し，（都）総社真備船穂線の整備，主要地方道上高末総社線バイパスの事業促進に取り組みます。 生活道路の整備については，安全性，防災性，景観・環境などに配慮し，行政と沿道地域住民との協働により，地域の実情に応じた愛着の持てる道づくりを進めるとともに，地域住民による維持管理活動の充実に努めます。
	その他交通施設等	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関への働きかけのもと，バス停における施設の充実やバスの増発，福祉や環境に配慮した車両の導入を目指します。
安全・安心・快適な生活環境づくり	公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> 公園・広場については，健康増進や憩いの場とともに，避難場所としての機能も踏まえ，全市的な配置バランスを考慮して整備を進めるとともに，地元管理を基本に，維持管理の効率化に努めます。
	下水道・河川	<ul style="list-style-type: none"> 下水道については，久代地区，神在地区等において，特定環境保全公共下水道の整備を検討していきます。 農業集落排水事業について，新庄（新本地区），山田（山田地区），本庄（新本地区），秦（秦地区），下原（神在地区）の浄化センターについては適切な維持管理に努めます。 公共下水道事業，農業集落排水事業の対象外の地域については，合併処理浄化槽の設置を推奨します。
	その他都市施設等	<ul style="list-style-type: none"> 既存の集落地については，必要に応じて生活基盤や情報基盤の整備等を進め，生活環境の改善・向上を図っていきます。 土砂災害警戒区域等において，関係機関と連携して，必要に応じて治山，治水，砂防事業を行い住民の安全確保に努めます。
水と緑にあふれた環境づくり		<ul style="list-style-type: none"> 里山活動や川づくり活動などを活かし，地域住民と行政，都市居住者等との協働により森林資源，水辺環境の維持・保全を図っていきます。 新本生活環境保全林については，導入道路である一般県道市場青木線の整備等により森林浴の場等としての活用を促進します。 水と緑のアメニティ軸を形成する高梁川や地域を横断して流れる新本川等の河川については，快適で憩いの場となる水辺空間の創出と河川緑化に努め，水と緑のネットワーク化を図ります。 自然観察・レクリエーションの場として，そうじゃ水辺の楽校や正木山をはじめとする里山等の活用を図っていきます。 一丁ぐる古墳群周辺の歴史的景観の保全とともに，歴史的文化的遺産を活用した観光振興，地域振興を図ります。

【西部地域まちづくり方針】



歴史的景観の保全及び
歴史遺産を活用した観光振興

新本川流域における優良農地の保全と
生産性の高い農業生産地の形成

関係機関との連携による
主要地方道上新本川線
ハイバスの事業促進

周辺環境との調和に
配慮した住環境の保全

企業誘致による、周辺の居住環境に
配慮した工業振興と雇用促進

区分	凡	項	目
	—	総社市行政区界	
	—	地域区分界	
土地	■	工業・流通地	
地利	■	工業・流通ゾーン	
利用	■	農地・集落地	
	■	丘陵地	
	■	山間地・森林地域	
拠点	●	集落地生活拠点	
	●	地域間連携軸	
軸	●	水と緑のアメニティ軸	
	●	歴史的景観	
	●	自然観察・レクリエーションの場	
	■	生活環境保全林	
	■	住宅団地	
	■	河川	
	■	特定環境保全公営下水道事業(未整備)	
	■	広域幹線道路	
交通	■	幹線道路	
	■	幹線道路(未整備)	
	■	都市計画道路	
	■	都市計画道路(未整備)	
	■	鉄道	